

2026(令和8)年度

社 会

(40分 80点)

注 意

- 1 試験開始のチャイムが鳴るまで、表紙を開いてはいけません。
- 2 試験開始のチャイムが鳴ったら、まず解答用紙の決められた所に受験番号を書き、問題のページ数を確認してから始めなさい。
- 3 問題は23ページまであります。ページの不足や乱れがあったら、だまって手をあげなさい。
- 4 印刷のはっきりしていない所があったら、だまって手をあげなさい。
- 5 試験終了^{しゅうりょう}のチャイムが鳴ったら、すぐ鉛筆^{えんぴつ}を置き、解答用紙を、表を上にして問題用紙の上に置きなさい。

受 験 番 号



(問題は次のページから始まります。)

次の文章を読み、問いに答えなさい。

みなさんは、怪獣映画『ゴジラ』シリーズを見たことがありますか。第1作は1954年に公開されましたが、その制作の背景には、同年ビキニ環礁^{かんしゅう}でのアメリカの核実験^{かく}で被^ひばくした第五福竜丸^{ふくりゅうまる}の存在があったといわれます。当時はまだ大多数の国民が、①太平洋戦争での経験を共有していたので、大きな反響^{はんきやう}があったと記録されています。第11作(1971年公開)は、海のヘドロから誕生した怪獣ヘドラが日本を襲^{おそ}う物語で、②高度経済成長期以降全国で問題となっていた③公害を取り上げています。ゴジラは、多くの人から「人知を超えたもの」「人類への脅威・警告の象徴^{しやうしやう}」と受け取られているようです。ゴジラが人類社会の築いてきた文明をいとも簡単に破壊^{はかい}するさまは、自然災害と人類との関係にあてはめることができないでしょうか。

④周辺を海に囲まれ火山活動の続く日本列島は、世界的に見て、年間を通じ自然災害の多い国です。いつどこで起こるかわからない自然災害に対し、あらかじめ防災・減災対策を考えておくことが必要です。これには、設備などの⑤ハード面と、行動マニュアルなどのソフト面とがあります。国や地方自治体は、⑥手続き^{もと}に基づいてルールを作り、税金をどう配分するか決め、詳細^{しやうさい}な政策を準備・実施^{じっし}します。また自然災害が起こったあと、いかに早く被害^{ひがい}の全体像^{はあく}を把握し、復旧・復興の取り組みへつなげるか、ということも求められます。自然災害が起こると、日常生活のみならず⑦経済活動にも大きな支障が生じます。そのため、⑧国や地方自治体、地域住民の連携^{れん}^{けい}や、さらには国際的な協力が重要です。

自然災害が起こった場合、⑨すべての被災者へ正確な情報を届けることが大切で、さまざまな取り組みが続いています。この際大きな役割を果たすのが、マスメディアです。しかしこれまで、ひろく誤った情報が流れ、社会に混乱を引き起こす歴史が繰り返されてきました。例えば1923年の関東大震災^{だいいんさい}では、多数の在日朝鮮人^{ちやうせん}や中国人、朝鮮人と間違^{まちが}われた日本人が、軍隊や民間人によって殺されました。⑩震災直後から根拠^{こんきよ}のないうわさ(デマ)が流れ、そのデマをもとに人々が加害におよんだと言われています。昨今、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の普及^{ふきゅう}で、これまでのマスメディアよりも迅速^{じんそく}に情報を知る手段が増えましたが、⑪問題点も多く指摘^{してき}されています。私たちには、メディアリテラシーを研ぎ澄^とませ、みなで困難^{くわんく}を克服していくチームワークと精神的な強さが求められています。

問 1 下線部①に関して。

- (1) 太平洋戦争が終わった年を西暦^{せいれき}で答えなさい。
- (2) 下記の文章はある歴史学者の文章からの引用です。空欄^{くうらん}(A)にあてはまる語句を考えて、漢字2字で答えなさい。

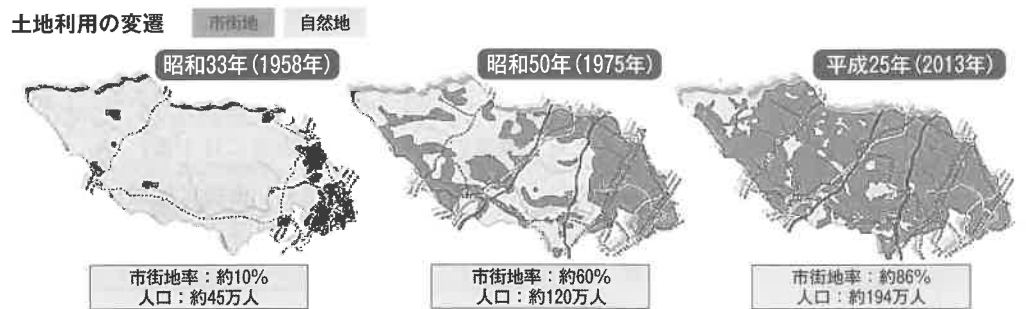
私自身も、戦争を体験してはいない。1954年生まれの……研究者である。しかし、直接に体験はしていなくても、戦争の現実、戦場の現実に対する(A)力を身につけることはできるのではないだろうか。そもそも、直接に体験していない事象を(A)することができないとすれば、歴史学という学問は成り立たないだろう。

具体的に言えば、人と人との殺し殺される関係性の中に投げこまれる戦場という殺戮^{さつりく}の現場への(A)力、巨大なキノコ雲^{きょだい}の下で生起している数々の出来事に対する(A)力、夫や息子の死を「名誉^{めいよ}の戦死」として受け入れさせてゆく時代と社会の強大な力に対する(A)力、そして、「敵の顔」の中に「人間の顔」を見出してゆくことのできる(A)力などである。

よしだ ゆたか
(吉田 裕『アジア・太平洋戦争』より)

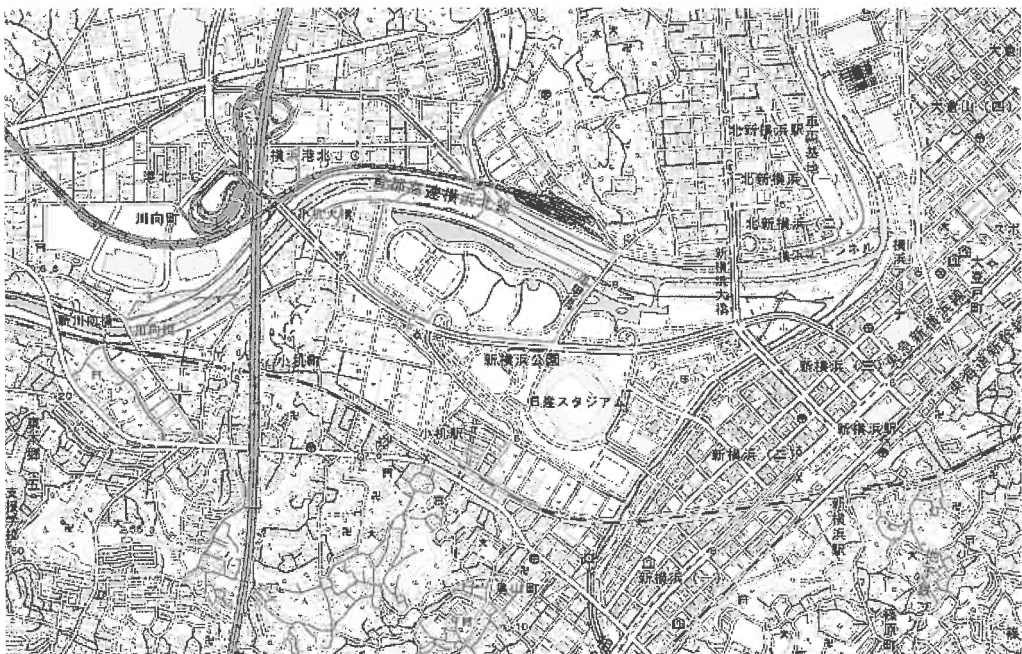
問 2 下線部②に関して。次の図 1 は、鶴見川流域の 1958～2013 年の土地利用の変化を示したもので、図 2 は、鶴見川流域の一部を切り取った地形図です。また、写真 1 は、図 2 中の「日産スタジアム」の外観を写したものです。これらの資料をみて、以下の問いに答えなさい。

図 1



(鶴見川流域水協議会資料により作成)

図 2



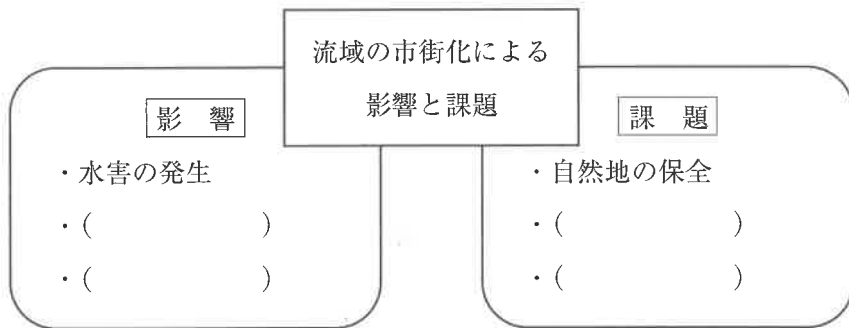
(地理院地図により作成)

写真 1



- (1) 図 1 から、鶴見川流域は、1970 年代には急速に市街化が進行していたことがわかります。図 3 は、これによって生じたさまざまな影響や課題をまとめたものです。図中の空欄に入る影響や課題として、いずれの空欄にもふさわしくないものを、ア～オから 1 つ選びなさい。

図 3



ア 新たな住宅地の開発

イ 河川の水質汚濁^{おどく}

ウ 震災や火災時の防災・減災対策

エ 水辺とのふれあい不足

オ 降雨時の急激な流量の増加

- (2) 図 2 の「新横浜公園」は、どのような機能を期待されて整備されたと考えられるか、図 2 および写真 1 を参考にして説明しなさい。

問 3 下線部③に関して。公害で被害を受けた人たちは、人としての尊厳を求めるとともに、損害賠償^{ばいしょう}に関する裁判を各地で起こしました。基本的人権と裁判制度について、以下の問いに答えなさい。

- (1) このころ「良好な環境^{かんきょう}で生活する権利」として新しく主張され始めたのが「環境権」です。日本国憲法に定められた権利で、「環境権」の根拠とされたものを、次のア～エから1つ選びなさい。

ア 法の下の平等

イ 要望を伝える権利

ウ 健康で文化的な生活を送る権利

エ 裁判を受ける権利

- (2) 次の文章の空欄(A)から(C)にあてはまる語句を答えなさい。

裁判所は、私たちの基本的人権が守られなかったとき、その回復をはかる役割を果たします。日本では、一つの事件について原則(A)回まで裁判を受けることができます。ある事件について、慎重^{しんちよう}に調べて裁くことは大変重要です。これまで、複数の刑事裁判^{けいじ}(犯罪に関わったとされる人を裁く裁判)で、裁判所が出した判決が有罪から無罪へと変更^{へんこう}されたことがあり、捜査^{そうさ}過程や裁判に対する批判が高まっています。またこんにち日本では、一般^{いっぱん}の国民の中から選ばれた人が特定の刑事裁判に参加する(B)制度があります。

裁判所は、国の機関の一つとして、国会の作成した法律や内閣の仕事^{しんさ}を審査し、(C)・法律・裁判所が出した判決などに照らし合わせ、それが正しいかどうか判断する権限を持っています。

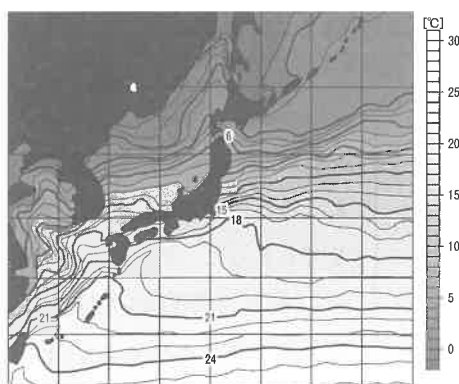
問 4 下線部④に関して。

- (1) 図4のように、松本(長野県)と西郷(隠岐諸島, 島根県)は、ともに北緯36度に位置しています。図5は2月中旬(平年)の日本近海の海水温分布、図6はそれら2都市の雨温図です。2都市は同緯度にあるものの、年平均気温と降水量には違いがあります。松本に比べて西郷の年平均気温が高く、また、年降水量が多くなる理由を、図5・図6を参照しながら説明しなさい。

図 4



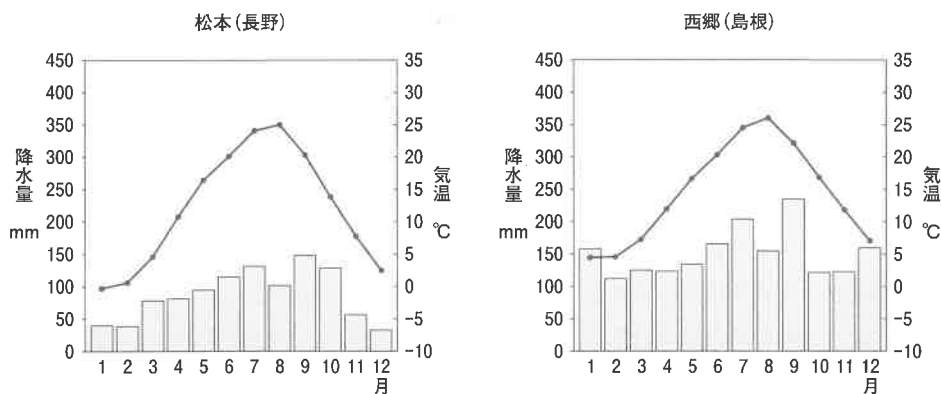
図 5



(統計年次は 1991～2020 年の平均)

(気象庁資料により作成)

図 6



(統計年次は 1991～2020 年の平均)

(気象庁資料により作成)

- (2) 周囲を海で囲まれた日本列島は古来より、海外の影響を受けてきました。特に、朝鮮半島の人々との間には、時代ごとに濃淡^{のうたん}の差はあるものの、政治・経済・文化などあらゆるレベルにおいて、深い結びつきが存在していました。深刻な衝突^{しょうとつ}や不和が生じたときでさえ、交流が途絶^{とだ}えることはありませんでした。次の史料1～3は、日本列島と朝鮮半島の交流と衝突にかかわるものです。史料1～3を読んだうえで、以下の問いに答えなさい。なお〔 〕内は、問題作成者による補足です。

史料1 高句麗^{こうくり}の王、広開土王^{こうかいどおう}(好太王^{こうたいおう}) (王位にあった期間：391～412年)の業績^{ひふん}などを記した碑文の一部

百済^{くだら}・新羅^{しらぎ}はもともと高句麗に服属し、貢ぎ物^{みつ}をささげに使いを派遣^{はけん}していた。ところが倭^わが391年以来、海を越えておそいかかり、百済や新羅を破って服属させてしまった。396年、高句麗の王である好太王自らが軍を率いて百済を打ちたおした。〔百済王は〕好太王に従う意思を示し、次のように誓^{ちか}った。「これからは好太王の奴隷^{どれい}となります」と。……399年、百済はその誓いを破って倭と関係を持ったので、好太王は南下して平壤^{ピョンヤン}※におもむいた。その時、新羅は使いをつかわして「倭人が新羅にせまってその国境にみちあふれ、城を破り、新羅の民を征服^{せいふく}してしまった。王様のご指示をあおぎたい」と申し上げた。……400年、王は歩兵と騎兵^{きへい}を合わせて5万を送って新羅を助けに行かせた。その軍が新羅城※に至ったところ倭人がその地にみちみちていた。

※平壤、新羅城は都市の名。

(『詳録新日本史史料集成』より。わかりやすく表現を改めたり、省略したりしたところがある)

史料2 二度目の朝鮮出兵の際に日本に捕虜として連行された朝鮮王朝の役人、姜沆が帰国後、朝鮮国王に提出した見聞録・報告書の一部

豊臣秀吉の死後、藤堂高虎※1)は、私たちを愛媛県大洲から京都府の伏見に移動させました。その地で私は、はじめて、次のようなことを聞きました。〔日本側が大いに船を集め〕……〔ア〕わが国の沿海の住民や商店、商品を根こそぎ積んで、日本に撤退することを、また〔朝鮮半島で戦っていた〕加藤清正※2)ら呼び戻したということ。数日が経過して加藤清正が送った使いがやってきて言うには〔イ〕中国の軍船および朝鮮の軍船が西から海をおおうようにやってきました。倭城(日本側が拠点としてつくった城)の十六城はほとんど包囲されています。……〕。〔加藤清正は使いを通じて救援を求めたが〕〔ウ〕石田三成※3)も肥前(現在の佐賀県と長崎県の一部)にとどまってあえて朝鮮には渡らず、家康らは毎日、武将たちを集めて対策を立てるため議論はするものの決定には至りませんでした。

※1) 藤堂高虎：戦国大名。姜沆とその家族を捕らえ、日本に連行した。

※2) 加藤清正：戦国大名。朝鮮半島で軍勢を率いて戦っていた。

※3) 石田三成：戦国大名。

(姜沆(朴鍾鳴 訳)『看羊録』より。わかりやすく表現を改めたり、省略したりしたところがある)

史料3 史料2と同じ史料。姜沆が日本で拘束されていたとき親交を結んだ藤原惺窩※1)との会話を記している部分。

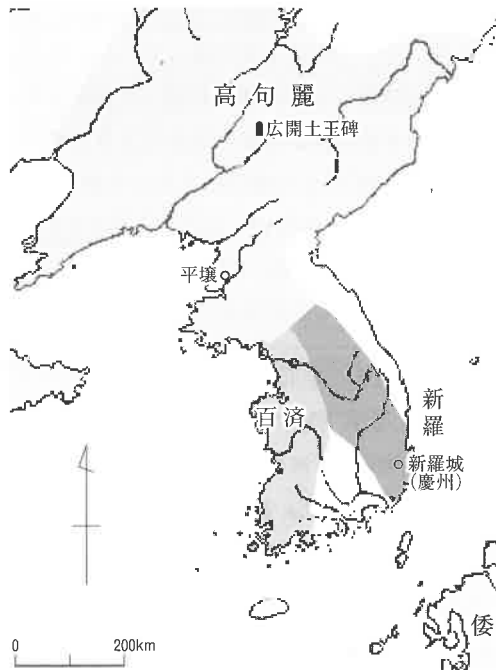
〔藤原惺窩は次のように姜沆に話しました〕「日本の民衆がこれほどやつれ衰えているようなひどい時代は、これまでありませんでした。朝鮮がもし、中国の兵士とともに、乱暴な君主を打ちたおして、〔日本の〕人々を救うのならば、まず降伏した倭の捕虜や通訳に、かなで書かれた布告文を掲げさせ、〔朝鮮が〕民衆を非常に激しい苦しみから救おうとしているのだという意思を〔日本の民衆に〕くわしく知らせるように努め、軍隊が通過する地域にいささかの被害も与えなければ、白河の関※2)までも十分に行くことができます。倭人が朝鮮の人を殺害したように、もし朝鮮がここ日本で同じ行為をするならば、対馬ですらも通過できないでしょう……実に残念です。わたし〔藤原惺窩〕が中国に生まれることができず、生を朝鮮に得ることができないで、日本のこのような時代に生まれ合わせたとは……」。

※1) 藤原惺窩：儒学が江戸幕府に採用されるきっかけをつくった人物の一人

※2) 白河の関：関東地方と東北地方の境である福島県に置かれていた関所。ただ、史料が書かれた16世紀の時点ではそのような関所は存在せず、白河の関は、京から遠くはなれた東北地方を象徴する言葉となっていた。

- ① 史料1と図7から読み取れることとして誤っているものを，ア～エから1つ選びなさい。

図7 広開土王(好太王)のころの朝鮮半島

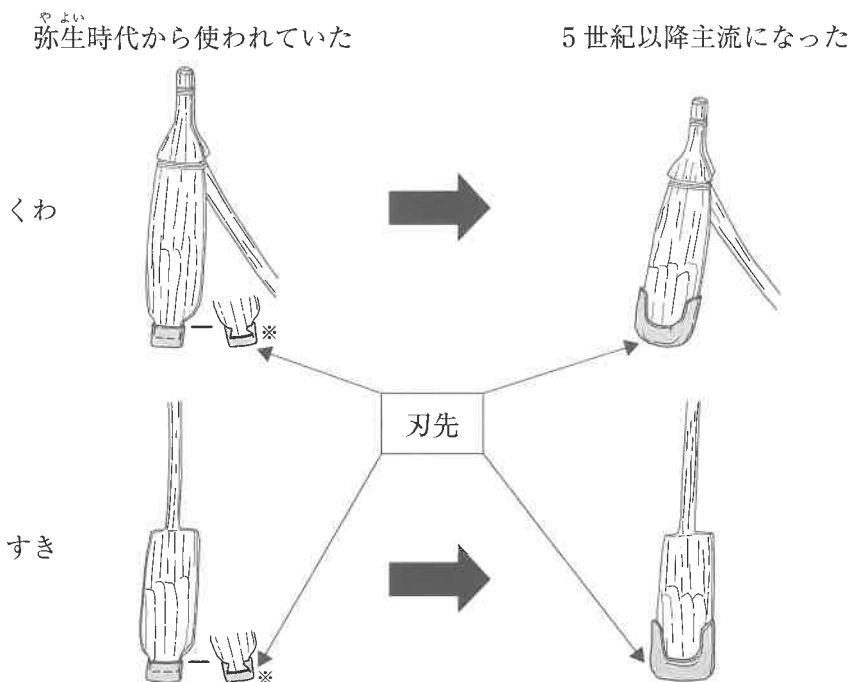


となみまもる たけだゆきお すいとうていこく
(礪波護・武田幸男『隋唐帝国と古代朝鮮』中の地図を一部改変)

- ア 倭は朝鮮半島において勢力の拡大を繰り返しねらっていた。
イ 高句麗はその勢力^{はんい}範囲を南へと拡大した。
ウ 新羅と百濟は倭の救援を受け，高句麗と敵対した。
エ 倭の兵士たちは朝鮮半島で馬を目にしていた。

- ② 古墳時代の5世紀の日本列島は、「技術革新」の時代と表現されるほど、さまざまな技術が発展した時代でした。図8とそれに関連する説明 i～iv をふまえて、「技術革新」の具体的な内容とその担い手を説明したうえで、それが農業生産にどのような変化を与えたと考えられるのかを説明しなさい。

図8 古墳時代におけるくわとすきの刃先の形状の変化



※ 刃先を反対側からみると鉄の板のはしが折り曲げられていることがわかる。

(『野中古墳と「倭の五王」の時代』中の図を一部改変)

図8 についての説明

- i 刃先は鉄でできている。
- ii 左側のくわとすきの刃先は鉄の板のはしを折り曲げて、木の本体をつつんでいる。
- iii 朝鮮半島では日本よりも早く、右側の U 字型の刃先をもつくわやすきが使われていた。
- iv U 字形の刃先は木の本体にはめ込むことができるようになっており、左側の形状のものよりも頑丈である。

- ③ 史料2中の下線部(ア)に関連して、朝鮮半島から連行された職人によって始められた伝統工芸と県名の組み合わせとして正しいものを、ア～エから1つ選びなさい。

ア 萩^{はぎ}焼——佐賀県 イ 有田^{ありた}焼——山口県
ウ 薩摩^{さつま}焼——鹿児島県 エ 備前^{びぜん}焼——愛知県

- ④ 史料2中の下線部(イ)に関連して、朝鮮王朝を支援^{しえん}するため朝鮮半島に軍船を送り、日本と戦った中国の王朝と日本の関わりについて述べている文として正しいものを、ア～エから1つ選びなさい。

ア 兵庫の港(神戸)が修復され、中国商人が来航しやすい環境が整えられた。

イ キリスト教とはつながりのない中国商人との貿易が出島において認められていた。

ウ 留学生・学問僧^そらが国家の使節とともに派遣され、先進的な中国文化の^{せつしゆ}攝取が目指された。

エ 正式な外交のもと貿易が実施されるようになり、その利益の一部を使い金閣が建造された。

- ⑤ 史料2中の、下線部(ウ)に関連して、朝鮮出兵の基地として豊臣秀吉によって築かれた肥前の城の名前を、解答欄にあうように漢字3字で答えなさい。

- ⑥ 史料3の藤原惺窩の発言の内容として明確に誤っているものを、ア～エから1つ選びなさい。

ア 藤原惺窩は、日本が道徳的に他の東アジアの国々に^{ゆうえつ}優越していることを確信している。

イ 藤原惺窩は、日本の民衆が朝鮮や中国の君主が良い政治を行うなら受け入れるだろうと言っている。

ウ 藤原惺窩は、日本の兵士たちが朝鮮で行った行為を道徳から外れる行為と考えている。

エ 藤原惺窩は、日本の政治指導者たちの立場を正当化するようなものの見方にとらわれてはいない。

問 5 下線部⑤に関して。次のA～Cの設備は、いずれもある災害への対策として建設されたものです。また、下のi～iiiはA～Cの設備の説明をしたものです。A～Cとi～iiiの組み合わせとしてふさわしいものを、ア～カから1つ選びなさい。

A



B



C



- i ようがん 溶岩流や土石流のはんらん 氾濫を防ぐための堤防で、ていぼう 流路を固定することで安全に流すことができる。
- ii 大雨や地震によって山やがけの土砂がくずれたときに、その土砂をせき止めることができる。
- iii 大量の降雪が予想される地域の斜面地しゃめん に設置することで、なだれの被害を防ぐことができる。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
i	A	A	B	B	C	C
ii	B	C	A	C	A	B
iii	C	B	C	A	B	A

問 6 下線部⑥に関して。自然災害への対応のため、当初予定していなかったことにお金を使う必要が生じた場合、国は予算を変更することがあります。このときの手続きについて正しいものを、ア～エから1つ選びなさい。

ア 予算案は、内閣のなかの総務省が中心になって作成する。

イ 内閣は、予算案を国会のいずれかの院に提出する。

ウ 国会では、衆議院・参議院ともに、予算委員会で議論した後、本会議で採決を行い決定する。

エ 国会で予算が決まった後、1か月以内に国民投票を行い、その予算を実施するかどうか決定する。

問 7 下線部⑦に関して。自動車は3万点以上の部品から構成され、それらの部品は、数多くの関連工場で生産されています。これらの工場は近接して立地することが一般的であり、自動車は、必要とされたときに必要なだけ生産するため、たとえば地震や洪水などで関連工場が被災すると、生産体制全体に大きく影響します。自動車産業に代表される、「必要なものを、必要な時に、必要なだけつくる」生産方式を何というか、カタカナで答えなさい。

問 8 下線部⑧に関して。現在の社会では、災害が発生した国や地域に、支援のための寄付金(義援金)を送ることが広く行われています。

日本では 20 世紀のはじめまでは、義援金を送る活動に対して十分に理解されていませんでした。しかし、1905 年に東北地方で起きた凶作^{きょうさく}で、国際的な支援の対象となったことで、少しずつ義援金の大切さを実感するようになったと言われています。

- (1) 以下の史料は 1905 年に東北地方で起きた凶作に関するものです。史料 4 は政府の方針に関するもの、史料 5 は政府の対応を東北地方の衆議院議員が批判しているものです。これらの史料からわかるものとして誤っているものを、ア～エから 1 つ選びなさい。

史料 4 1906 年 1 月 15 日に、日本の外務大臣が、イギリスに駐在^{ちゅうざい}する日本の外交官に送った電信

被災地救済にあたって、日本政府は外国からの寄付をあてにしているが、すでに寄付された義援金についてはよろこんで受け取るべきである。ただし、義援金の使い道は政府が決めたい。具体的な方針としては、金品をあてにする気持ちを被災者に持たせないように、さまざまな事業をおこし被災者に職業を与えて自立させる。

(『外務省記録』より。わかりやすく表現を改めたり、省略したりしたところがある)

史料 5 1906 年 2 月 27 日 帝国議会でのやりとり

小田文行^{おだぶんこう}(岩手県選出の衆議院議員)の発言

内務省*は「本来、東北の農民はなまけているせいで貧しいのである。彼らに金品を与えてさらになまけさせるよりは、将来彼らが自立できる政策を行うことが最も重要であるため、金品を与える必要はない」と考えているということを、新聞やその他からの情報で知りました。これはわたしにはどうも理解できません。もし本当に内務省の言うとおりで、東北の人々がなまけているのであれば、これは農民の罪ばかりではなく、政府の罪もあるのではないですか。

原敬^{はらたかし}(内務大臣)の発言

わたしは凶作地の救済について、一日もおこたらず、あらゆる手段を検討しています。

政府が同意できないという理由は、すなわち国庫の歳入^{さいにゅう}の関係なのです。歳入にゆとりがあれば簡単なことですが、実際は切りつめた状況^{じょうきょう}です。このために増税をしないと公債^{こうさい}をつのるということはできないでしょう。もっとも、非常事態の場合はそうした対応をとらなければなりません、こんにちのところはそこまでの問題ではないと思います。ですので、この状況においては、国庫の状況を照らし合わせて、政府はできるだけの道をさぐるとしか申し上げられません。

す とうりくぞう
首 藤 陸 三 (宮城県選出の衆議院議員) の発言

天皇・皇后両陛下が使者を派遣して現地を視察させ、その上で被災地に5万円をくださいました。また遠くイギリスからは1万円を、アメリカ大統領は国民に呼びかけて2万円を、それぞれ日本の赤十字社へ送ったといいます。海外からでさえも被害の状況に見合った義援金が送られているのに、国家は何をしているのですか。国家は府県の知事に命令したとか何とか言っていて、こうしてばく然としたまま被災地の人びとが積雪^うのなかで飢え死にするのを、政府は見殺しにするのですか。

※内務省：警察や地方行政を担当した、中央政府の省。

(帝国議会衆議院の議事速記録より。わかりやすく表現を改めたり、省略したりしたところがある)

- ア 政府は義援金を用いて、産業を振興^{しんこう}することで被災者が職業を得て経済的に自立できるよう促^{うなが}す方針をとった。
- イ 新聞は政府を批判するために、被災者が政府からの支援を求めているという印象を与える記事を書いた。
- ウ 政府は衆議院議員から追及^{ついききゅう}を受けたが、今回の被災地の住民に対して国庫から資金を出すという回答は行わなかった。
- エ 衆議院議員が政府の対応を批判するときに、外国から日本の赤十字社に義援金が送られていることを挙げた。

- (2) 東北の凶作で義援金をもらったのとほぼ同時期に、日本は海外の被災地に義援金を送りました。以下の史料は、1906年にアメリカ合衆国のサンフランシスコで発生した大地震、および1906～08年に中国で発生した水害に義援金を送った事例に関するものです。これらの史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

史料6 アメリカの地震に対する新聞の社説

われわれは、世界の地震国の住民として、アメリカに強く同情する。特にカリフォルニア州は日本人が多く移住している地域である※。

東北地方の凶作の時、アメリカのセオドア・ローズベルト大統領は、アメリカ国民に向けて呼びかけを行い、義援金を送ってくれた。その効果はわれわれが現在目にしているとおり明らかである。いたわりの気持ちには、同じようにいたわりの気持ちで返さなければならない。

※カリフォルニア州ではこの時期、日本人移民を排除・差別する動きが高まっていた。
(『東京朝日新聞』1906年4月22日より。わかりやすく表現を改めたり、省略したりしたところがある)

史料7 1908年6月25日、香港に駐在する日本の外交官が日本の外務大臣に送った、中国の水害に対する意見

被災地と関係する日本の企業からなるべく多くの義援金を送れば、ボイコット※をゆるめる政策として、大きな効果があるだろう。香港や中国に支社がある日本企業の関係者と話し合ったところ、みな同意し、日本にある本社にも外務省から働きかけてほしいと言っている。他国より早く動いた方がいいので、急いで検討してほしい。

※1908年に、日本の船が中国の役人に捕まったことに対して日本側が謝罪・賠償を求めたことがきっかけで、中国で日本製品の取引を拒否する運動が起きていた。
(『外務省記録』より。わかりやすく表現を改めたり、省略したりしたところがある)

- ① この時期に日本がアメリカへの支援活動を行った背景の一つには、アメリカのなかだちで結ばれた条約への感謝もあったと言われます。その条約名を答えなさい。

- ② 史料7で日本が中国に義援金を送った目的について、義援金を受け取る側に生み出される効果を史料6から読み取った上で説明しなさい。

問9 下線部⑨に関して。駒子さんは、防災について学んだことを発表します。次の文章を読み、図9・写真2をよくみて、以下の問いに答えなさい。

高齢者や障がいのある人が生活を送るうえで妨げになるものを取り除いていこうという考え方を(A)といいます。さらに今日ではそこから進んで、年齢・障がいの有無・性別・国籍などにかかわらず、すべての人が利用しやすいものや環境をはじめからつくっていこうとする(B)という考え方が広まり、これに基づいた製品やまちづくりも進んでいます。こうした動きは、防災対策としても大変意味のあることだと思います。

ここでは、災害発生時、いかにしてすべての人に正確な情報を伝えるかという問題を考えます。災害に関する国や地方自治体の報告書を読むと、「災害時要援護(配慮)者」という言葉が出てきます。これは、災害時に必要な行動をとるのに支援が必要な人のことで、一般的に高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊産婦が挙げられます。日頃からこうした人たちに、どのようなことに困っているか・どのような伝え方であればきちんと伝わるかを聞き、あらかじめ入念に準備することが必要です。たとえば、聴覚障がいをもつ人は、[C]ため、周囲の手助けが遅れてしまうおそれがあります。誰ひとり取り残すことなく災害から社会を守るためには、さまざまな事態を想定して準備しておくことが必要だと強く感じました。

図9

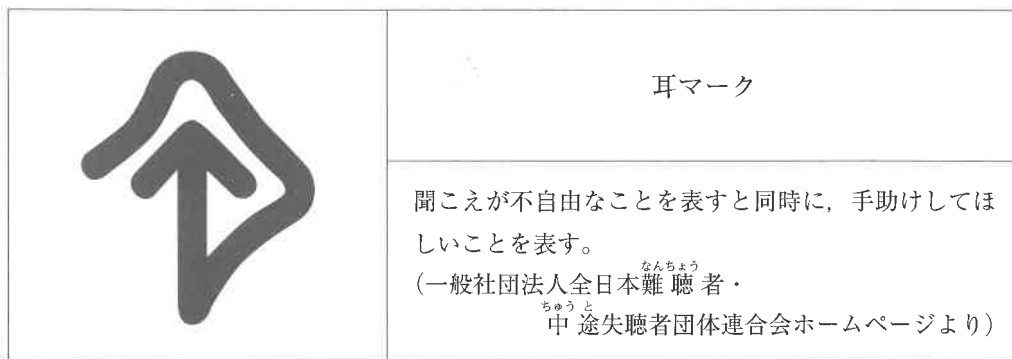


写真 2



(1) 空欄(A)・(B)にあてはまる語句を, [C] にふさわしい文をそれぞれ答えなさい。

(2) 波線部に関して。国や地方自治体が想定して準備すべきこととしてふさわしくないものを, ア～エから1つ選びなさい。

ア 正確な情報を発信するため, 誤情報の流れやすい SNS を用いず, 日頃から防災行政無線やラジオを積極的に活用する。

イ 日本で仕事を持ち生活する外国人に対して, 日常会話や災害時に必要な日本語を教える機会をもうける。

ウ 障がい者本人や家族の同意を得ながら必要な情報を集め, 安全に避難できる経路の確認をおこなう。

エ 高齢者が避難所で体調を悪化させないように, 定期的に医師や保健師が見まわりや聴き取りをおこなう仕組みを作る。

問10 下線部⑩に関して。

- (1) 駒場君・池尻君・大橋君は、以下の史資料から、震災と情報についてどのような教訓が得られるのかを話し合いました。史資料をもとに3人が話している内容で正しいものをア～エから1つ選びなさい。

資料 1

1923年時点で、東京市内には18の日刊新聞社があったが、このうち、15社が火災で会社の建物が焼失した。

かろうじて被災を免れた東京日日新聞、報知新聞、都新聞の3社も、停電で印刷機が動かなかったために、前橋や水戸などの印刷会社や新聞社に印刷を頼んで発行したり、手刷りなどで号外を出したりするのが精一杯だった。この3社が自社での機械印刷を再開したのは電気が復旧した9月5日以降だった。

東京にある、他の主な新聞社の発行再開日は以下のとおりである。

9月9日：中央新聞、万朝報

9月12日：東京朝日新聞、時事新報

9月13日：国民新聞

9月15日：中外商業新報、読売新聞

9月16日：やまと新聞

9月18日：東京毎夕新聞

9月19日：二六新報

(『大正ニュース事典』より)

史料 8 1923年9月2日に東京から発信された電報(一部省略したり改めてある)

各地方長官あて 内務省警保局※長より

東京付近の震災を利用し、朝鮮人は各地に放火し、けしからぬ行動をしようとし、現に東京市内において爆弾を所持し、石油を注ぎ放火するものがあるという。各地において十分注意して見回りをし、朝鮮人の行動に対してきびしく取りしめりを加えなさい。

※警保局：内務省の中にある、全国の警察業務を担った組織。

(『関東大震災朝鮮人虐殺問題関係史料』より。わかりやすく表現を改めたり、省略したりしたところがある)

史料9 震災後、吉野作造^{よしの さくぞう}が虐殺事件について発表した考え

事件の原因は根拠のないデマであったが、こうしたデマをなぜ民衆が信じたのか。一つ目は、急なできごとで民衆が動揺^{どうよう}していたことである。二つ目は、混乱の時に民衆が信頼^{しんらい}していた警察や軍隊が、デマを打ち消さず、むしろ喜んで広めていたことである。三つ目は、日本の植民地朝鮮の支配が成功していると政府が宣伝しているにもかかわらず、日本国民はそれを信じていないことである※。朝鮮人が日本に不満を持っているのではないか、だから混乱に乗じて彼ら^{かれ}が何かするであろうと信じるまでに至った日本国民の心の動きについては、統治を行う側も深く反省しなければならない。

※ 1919年には、朝鮮で日本からの独立を求める大規模な運動が起きた。

(『報知新聞』1923年10月21日夕刊より。わかりやすく表現を改めたり、省略したりしたところがある)

駒場君：東京の新聞社の多くが火災で被害を受けて、多様な情報を入手できなくなったことは、東京の住民の朝鮮人に対する不安をさらに大きくしたんだろうね。

池尻君：警察や軍隊といった国の組織を民衆が信頼していたから、こうした組織が不確かな情報を流しても信用されやすかったんだろうね。

大橋君：東京では多くの新聞が再開されるまで数日かかっているから、その間に根拠のないうわさが広まったと考えられるね。

ア 駒場君のみが間違っている。

イ 池尻君のみが正しい。

ウ 大橋君のみが間違っている。

エ 全員正しい。

- (2) デマにより引き起こされた朝鮮人や中国人の虐殺事件は、災害後に人びとの動揺を防ぐ必要を実感させました。そしてこれらは新たなメディアが発達する一つのきっかけとなりました。関東大震災後の1920年代後半に、本格的に広まったメディアを答えなさい。

問11 下線部⑪に関して。近年，SNS では，実際の被害とは全く関係のない災害の画像や動画を意図的に発信する人もみられ，これらは，被害状況の把握や救助活動に影響をおよぼすといわれています。このように，真実ではなく，拡散されることで社会にマイナスの影響を与えるような情報を何というか，カタカナで答えなさい。

問 1	(1)	年	(2) A			
問 2	(1)					
	(2)					
問 3	(1)	(2) A	(2) B	(2) C		
問 4	(1)					
	(2) ①					
	(2) ②					
	(2) ③	(2) ④	(2) ⑤		城	(2) ⑥
問 5		問 6				
問 7	方式					
	(1)	(2) ①	条約			
問 8	(2) ②					
問 9	(1) A	(1) B				
	(1) C				(2)	
問10	(1)	(2)				
問11						
			社 会			
受 験 番 号						